

GAH NEWS

RILAC

No.2

荒川区民総幸福度
GAH-Gross Arakawa Happiness

平成22年4月

荒川区自治総合研究所

荒川区民総幸福度 (GAH)とは

荒川区民の幸福度指標のこと。荒川区では、区民の皆様の幸福度を数値化し、区政の指標とするため、現在、調査研究を進めています。

本号では、
荒川区民総幸福度（GAH）
って何？という疑問に
お答えします。

なぜ幸福度の指標化に取り組んでいるのか？

これまで、世界の国々では、国の経済状況を表す指標である国内総生産（GDP）の増加を目指し、経済力を競い合ってきました。日本も同様に、戦後、歴史上稀に見る高度成長を遂げ、ついにはGDP世界第2位にまで昇りつめました。

しかし、GDPが上がっても、日本人の幸福度は上がっていないという研究結果もあります。最近では不況や格差社会の中で、不安感や閉塞感を感じたりする方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

荒川区では、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（区が活動する事業領域）を掲げています。荒川区は、物質的な豊かさや経済効率だけでなく、心の豊かさや人のつながりを大切にしたい、区民の皆さまが安心して生活できるあたたかい地域社会「幸福実感都市あらかわ」を、皆さまと一緒に築いていきたいと考えております。

つまり、区民の皆さまの幸福度をいかに高められるかという視点でサービスを検討し、提供していくことが非常に重要であると考えています。そのためには、まず、区民の皆さまが幸せを実感するために区として何をするべきかを把握することが大切です。

このことを把握するために、当研究所では、区民の皆さまの「幸福度」

を数値化し、区政の指標とするための調査研究に取り組んでいます。この幸福度の指標のことを「荒川区民総幸福度（グロス・アラカワ・ハピネス：GAH）」と呼んでいます。

しかし、幸福度の指標を作るのはそう簡単ではありません。例えば、公園が増えたことが区民の皆さまの幸福実感にどれだけ寄与したかを測定することは非常に難しいことです。

もちろん、「幸せ」は人それぞれです。しかしながら、広く区民の皆さまが幸せを実感できるようなサービスを提供していくために、試行錯誤を繰り返しながら幸福度の指標をつくっていきたいと考えています。指標をつくり、それにもとづいてより良いサービスを検討・実施していくために、ぜひ、区民の皆さまと一緒に、この荒川区民総幸福度について考えていければと思います。

そのため、今後、このことについて、区民の皆さまにご意見をいただいたり、アンケートなどのご協力をいただくことがあるかと考えております。なにとぞご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



編集部より

本紙では、荒川区民総幸福度に関する最新動向やニュース等を毎月お届けしていきます。左記のメールアドレスまで、ご意見・ご感想等をお寄せいただければ幸いです。

荒川区自治総合研究所は、荒川区が抱える課題等について、多角的かつ中長期的な視点に立って調査研究を行い、区に政策提言等を行うことを目的として平成21年10月に設立された機関です。

GAH Gross
Arakawa
Happiness

編集発行 荒川区自治総合研究所

〒116-0002 東京都荒川区荒川2-11-1

TEL：03-3802-4861 FAX：03-3802-2592

URL：<http://www.rilac.or.jp/>